

## 平成30年度 第2回 行政改革推進委員会 会議録

開 催 日 時	平成30年9月18日（火曜日） 開会・午後1時30分 閉会・午後4時10分
開 催 場 所	上湧別コミュニティセンター 2階会議室
出 席 委 員 等	北村会長、高桑職務代理者、菊地・小林・野田・松浦・森・宮澤委員
欠 席 委 員 等	高橋委員
職 員	まちづくり推進課：安藤課長、保健福祉課：松下・前野主幹、水産林務課：石塚課長、住民税務課：前川課長、商工観光課：絹張課長、教委教育総務課：尾山課長、教委図書館：田中館長 総務課：濱本課長、企画財政課：佐藤課長、斉藤主幹、島田主任
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. あいさつ</li> <li>3. 確認事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第1回 行政改革推進委員会会議録の確認について</li> </ol> </li> <li>4. 議 題             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 湧別町定員管理適正化計画について（職員数の推移）</li> <li>(2) 行政評価について                 <ol style="list-style-type: none"> <li>①平成29年度 行政評価における意見等の対応について</li> <li>②平成30年度 行政評価・外部評価について</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>5. その他             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 次回の会議日程について</li> </ol> </li> <li>6. 閉 会</li> </ol>
会 議 の 公 開	公開
傍 聴 人 の 数	0名
提 出 資 料	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成30年度 第1回 行政改革推進委員会 会議録</li> <li>(2) 【参考資料】湧別町職員数の推移（見込み）</li> <li>(3) 平成30年度 事務事業調書（外部評価用）</li> <li>(4) 平成30年度 事務事業調書説明資料（外部評価用）</li> <li>(5) 平成30年度 行政評価調書総括表</li> <li>(6) 平成30年度 行政評価調書総括表（各種補助金）</li> </ol>

## 1. 開 会

佐藤課長が会議の開会を宣言し、委員の過半数以上が出席しているため、委員会の成立を確認した。

## 2. 会長あいさつ

北村会長) 9月6日の早朝、北海道地域で大きな地震があり、私は朝起きて電気がつかない状況から、地震があったことを知ったところです。私たちの地域は震源地に比べれば、被害が少ない状況で、本日、出席の委員も地震の対応をされた方もいらっしゃると思います。

本日の会議では、事務事業の外部評価を行います。各課長に出席していただいていますので、委員の皆さんから忌憚のないご意見をいただき、会議を進めて参りたいと思います。

## 3. 確認事項

### (1) 第1回 行政改革推進委員会会議録の確認について

北村会長) 会議録の内容を確認したいと思います。

#### 【意見及び質問】

- これからの会議録には、委員の氏名を記載しないということで、何か不具合があったということですか。
  - ⇒ 前回の会議で、委員の皆さんが活発に議論いただけるように、公開する会議録には委員の指名を掲載しない意図で説明しました。
  - ⇒ 他の会議でも音声を録音したものを会議録としてホームページに公開されるが、遠慮して発言を控えるという意見もあって、公開するものは氏名を伏せることで考えたい。
- 行革だからこそ、誰が何を発言したのか載せるべきで、発言者はそれなりの立場で話していると思うし、責任をもてると思う。私は氏名が載っている会議録に価値があると思う。
- 前回の会議での説明では、全庁的な会議録の取り扱いまでは汲み取れなかった。同僚委員が言うように、自分の意見に責任を持って話しているので、今までどおりで良いのではないか。
- 小さな町で、会議録が公開されたときに、個人が特定され予断を持って人を見られることも考えられる。逆に氏名を出さないことで、予断を持たれずに色々な検討がされたという見方になるかもしれない。氏名を出すことに反対をしているわけではない。
- 会議録は個々の意見をきちんと精査することが必要なのと、会としての方向性、道筋を方向付けているわけで、それに対して個人の名前は必要ないと思う。
- 公開用と保存用の会議録があって、公開が求められれば保存用を見せることに

なるので、拘るものではない。

- 本公示された会議録のまとめ方で、会議の内容が十分わかるので、どちらでも構いません。
- 氏名を掲載しても良いと思いますし、掲載しなくても良いという意見であれば、それでも良い。意見が出やすい環境であれば、それが良い。

北村会長) 委員全員に意見を伺いましたが、全体的に氏名を出しても良いという雰囲気ですが、一般に公開する会議録は氏名を載せないという雰囲気なので、前回確認したとおりとしたい。

※会議録の記載内容については、全員が了解した。

#### 4. 議 題

##### (1) 湧別町定員管理適正化計画について（職員数の推移）

北村会長) この議題の資料提出を求めた委員が、急遽、欠席となったため、事務局から次回の会議で協議したいと申し出がありましたが、そのようにしたいがよろしいか。 ※委員了解

##### (2) 行政評価について

###### ①平成29年度 行政評価における意見等の対応について

議案に基づき、斉藤主幹より報告する。 ※意見なし

###### ②平成30年度 行政評価・外部評価について

議案に基づき、外部評価の進め方について斉藤主幹より説明し、事業ごとに各担当課長から資料の説明を行った。

#### ■街路灯整備事業（まちづくり推進課・安藤課長説明）

##### 【意見及び質問】

- 今回は街路灯の LED 化に合わせて支柱の更新が行われている。資料の整備効果はランニングコストだけで、実際の工事費を含めると、何年で回収できる計算をしているか。  
⇒ そこまでの計算はしていない。
- 支柱や電球の耐用年数はどの程度になるか。  
⇒ 承知していない。次回からは電球の交換で済みます。
- 整備基数が、撤去が 133 基で新設が 96 基であり、基数が少なくなるようであるが、事業目的の町民の屋外通行の安全確保と防犯対策について保たれると理解してよいか。  
⇒ 基数は少なくなるが、市街地における照度を調査し、その照度を確保できる

計算をしている。従来の照度、若しくはそれ以上の照度を維持している。

**【外部評価の判定】**

2・現状維持とする。特に意見なし。

■出産準備金支給事業（保健福祉課・松下主幹説明）

**【意見及び質問】**

意見なし

**【外部評価の判定】**

2・現状維持とする。特に意見なし。

■高齢者生活福祉センター運営管理事業（保健福祉課・前野主幹説明）

**【意見及び質問】**

- この事業は退任された委員からの指摘で、今の担当からの説明を聞く限りでは「やらない」としか聞こえない。町内に同じような施設があって、片方は法人で運営できて、片方ができない理由がなぜかという疑問から始まったと記憶している。高い委託料を支払うよりも法人に運営してもらう方が効率的ではないかということで、何が問題で前に進まないのか、やれない理由は何か。やりたくないのか。  
⇒ 年間 2,300 万円の委託料を支払っており、施設を法人に譲渡しても同じような赤字が出ると予想され、その経費の圧縮に努めて検討している。施設も建設から 25 年以上が経過し、維持管理経費の問題もあり、慎重に考えていかなければならない。
- 委託料が年間 2,300 万円、誰が運営しても 2,300 万円要するという考えで、理論でないか。慎重に検討する要素があるというのなら、何も進まない。一年経っても何もしていないという意味。  
⇒ 大きな赤字が出ているので、その赤字を圧縮するなどの検討を進めてきた。
- この事業は法人への譲渡ありきなのか、現状が良いのか。どちらに欠点があるのか、わからない中、両方比較して検討をするのが本来で、両面から議論してあるべき姿の結論を出すべきでないか。
- 二次評価の意見にあるように、法人への譲渡を含めて検討しているようですが、他町村の経営状況を確認したい。そして赤字の圧縮にも限界があるのであれば、利用料の見直しも検討が必要になってくるが、両面から考えないと 2,300 万円が一気に解消するとは思えない。  
⇒ 他町村の経営に関する数字等は持ち合わせていないが、厳しい経営と聞いている。利用料の見直しも考えられるが、赤字の解消には至らないと思う。
- 二次評価では、「外部評価の意見を踏まえ」とある。我々の意見が評価されている。施設を運営する側が利用者の立場ではなく、お金の問題で利用日数を減ら

している。他の運営方法を調べるとか、検討することはいくらでもあると思うが、「慎重に検討しなくてはならない」という回答には納得できない。皆さんもそう思う。

#### 【外部評価の判定】

3・改善とする。民間（法人）への施設の譲渡を積極的に前進させること。

### ■生活支援体制整備事業（保健福祉課・前野主幹説明）

#### 【意見及び質問】

- コーディネーターとは誰か。業務量的にかなりの負担ではないか。  
⇒ コーディネーターは社会福祉協議会の職員で、もう少し人材を養成しながら広げていきたいが、初年度なので、1名でスタートしている。
- コーディネーターに役割を担ってもらうことも良いが、地域、となり近所で高齢者を見守っていく意識づくりが大切です。  
⇒ はじめはコーディネーターが先頭に立って進めてもらい、自治会単位などで見守り活動をやってもらいたい趣旨です。
- 今回の停電に伴い、一人暮らしの高齢者がどうしていたか、見回りをして把握していますか。  
⇒ 高齢者に限らず病気の方などの状況の把握に努めています。社協ヘルパーの訪問時にも確認しているようです。
- 高齢者世帯等の見回りをする際の基準はあるか、年齢とか家族構成とか、誰を見回るとか、セーフティネットをどうかけているのか。
- 民生委員との協力は仰いでいないのでしょうか。  
⇒ 町から特に要請はしていませんが、民生委員の日常の活動で行っていただいています。

#### 【外部評価の判定】

3・改善とする。本年度の活動を検証して、コーディネーターの増員も検討されたい。

### ■地域活動支援センターTONDEN 運営事業（保健福祉課・前野主幹説明）

#### 【意見及び質問】

- 来年の3月を目途に、TONDEN の運営を引き継ぎたい団体が新たに NPO 法人に移行すると聞いていて、地元の人たちで TONDEN を運営したいと聞いている。  
⇒ 法人を立ち上げるということは聞いているが、運営に関して正式な申し出はありません。
- その NPO 法人が立ち上がれば、従来のように支援していくということでしょうか。

⇒ 当該団体から運営に関する正式な申し出はありません。

- 昨今、中央官庁の障がい者雇用の水増し問題が話題になった。町内の企業も規模によって障がい者の雇用が義務付けられている。TONDEN を準備期間として一般企業への採用を進めるとか、社会的、経済的、自立をもっと進めていこうと動きにつながっている部分があるか。私も職員採用の仕事をしていますが、障がい者雇用に関する情報は入ってこない状況である。

⇒ TONDEN が情報発信しているかどうかは把握していないが、皆さん、社会復帰を目指して働いている。

**【外部評価の判定】**

- 2・現状維持とする。特に意見なし。

**■町有林管理事業（水産林務課・石塚課長説明）**

**【意見及び質問】**

意見なし

**【外部評価の判定】**

- 2・現状維持とする。特に意見なし。

**■未来につなぐ森づくり推進事業（水産林務課・石塚課長説明）**

**【意見及び質問】**

- 各産業、労働力等が不足しており、事業展開が難しくなっていると聞いている。林業の状況はどうか。

⇒ 林業従事者が不足している状況で、本町の町有林の管理も回らなくなる可能性がある。東日本の震災以降、復興を目的とした財源として、私たちの住民税には平成35年まで上乘せが行われているが、その後、新たに森林環境税の導入が予定されている。これを森林の保全対策に充てることになるが、人手が足りない状況の中で、その対策ができるのかという懸念がある。

**【外部評価の判定】**

- 2・現状維持とする。特に意見なし。

**■湧別高等学校存続対策事業（教委教育総務課・尾山課長説明）**

**【意見及び質問】**

- この事業に着目したのは、事業が有効なのかということで、前回も色々な人たちの知恵を共有してはどうかと質問して経過がある。本町は第1次産業の町であり、それを踏まえながら産業に特化したコースを設けるなど、他にできることはないのかと考える。町民の進学率が半分に届いていないなか、この事業が本当に平等なのかとも考える。また事業の目的が、保護者の負担軽減が先に記載されているが、本来は魅力が先ではないかと思うが。

⇒ まずは高校の魅力づくりが第一と考える。発想としては専門学科の創設も考えられるが、湧別高校は道立高校であり、道教委の管轄である。道教委として4学級に満たない高校は再編の対象としている。置戸高校には福祉学科があるが、当時、地元から提案したのですが、今ではそのような提案は受け入れられない状況である。その他には町立として存続する方法も考えられる。

- 部活動でも合同チームでの活動となっていて、年によっては合同となる相手が変わる状況で、親の送迎の負担もあり、色々な面で課題があると感じている。例えば、湖陵中であれば、野球に特化して何とか続けられるようにしていたが、そのような知恵を共有していくことが大切と感じる。
- 出産準備金の説明で、町内では50数人しか生まれない現状で、中学校も複数必要なかという時期も来る。委員の皆さんも、学校との接点がなければ湧別高校の実情に触れる機会はないと思う。地域で湧別高校の良さを伝え合えば、湧別高校への進学率が高くなるのではないかと。
- 難しい問題で、地元の子供もたちのために高校を守りたいのか、学校事業として守りたいのか、人口減少の中で、自分が違う会議に出席した際に、高校を町立にして全国から生徒を呼び込んで話したことがあって、その方が可能性がある。これから高校を維持するというのは、絶対なのか、必要なかと思うこともある。
- この問題は、子ども、親、先生、町の考え方が一致しないと実現できないし、ここから始まるのではない。子どもたちが遠軽高校へ進みたいのは将来の進学を考えてのことと思うが、湧別高校はその目的から外れていると考えることになる。それを町としてどうにもできないとなると、結局どう手を打つかということになる。そうすると、今の事業、年間1,200～1,500万円を持続するのは大変で、子どもたちが湧別高校に行きたいと考えなかったら、この事業の存続は難しいと思う。
- 進学に関して外部にアピールできること、部活動も人数が少ない中で、何かに特化して、選択しなければいけない。あれもこれもでは無理でないか。その選択が子どもの意見なのか、親の意見なのか、町の意見なのかであって、教育とは子どもの夢を叶える場であって、子どものニーズが大事である。
- 吹奏楽部が全道大会に出場してがんばっているのは、すごく明るいニュースであるし、楽器購入に対する補助金が形になってきている。湧別高校に対する町の人の評価が上がって来るのではないかと。
- 色々な議論をたくさんすることで、良い知恵が出るのではないかと考えている。

#### 【外部評価の判定】

3・改善とする。高校の魅力化に関して色々な議論を踏まえて知恵を共有しあいながら検討を進めること。

## ■図書館資料購入事業（教委図書館・田中館長説明）

### 【意見及び質問】

- 外部評価の対象に選んだ理由は、これから合併した湧別を考えると、同じ施設の統廃合が進んでいくときに、図書館がなぜ上湧別地区、湧別地区に二つあって、どのように利用されているのか、委員の皆さんは聞く機会がないのではないかと思ひ、選択しました。図書館はその町の文化度を測るために大事なことと思ひて、館長の説明にあったとおり町の資料がたくさんあって、子どもたちがこの町の成り立ちを知るうえで、図書館が資料を保管していなければ、大事な資料がなくなってしまう、合併してひとつの町になっても、成り立ちが違うわけです。
- 本の貸し出し冊数など、明らかに利用者は中湧別図書館が多いわけで、湧別図書館の存在価値を図書館長から実際に話を聞いていただきたいとのことから、今回、外部評価の対象に選びました。出来ることならば、施設の見直しに係わってくるかもしれないが、図書館に本が並んでいて色々な本がある中、住んでいる人たちが司書の方に相談できる場所があるかどうかで、湧別の教養度、文化度が変わってくると思う。皆さんに図書館が2館要らないと言われたときに、湧別町が図書館を大事に守って欲しいと思ひ、提案しました。
- 最近、私も本を読む機会があつて本屋さんで足を運ぶことがある。店舗で本を売る努力しており、その努力を図書館に取り入れてはどうかと思う。国の文化を測るのは本屋がどれだけあるか、それを若者に本を見てもらうために読む意識、読むことの良さを宣伝、ピーアールすることが必要でないか。
- 色々な機会を通じて、本の魅力を伝えることが図書館の役割です。

### 【外部評価の判定】

- 2・現状維持とする。特に意見なし。

## 5. その他

### (1) 次回会議日程について

協議の結果、10月11日（木）の午後1時30分から開催することとした。

## 6. 閉 会